

委員長 再開します。  
これより、八幡浜市民スポーツセンターの指定管理者候補者選定審査を行います。

委員長 1番 清水商事株式会社の面接審査を行います。  
事業計画の説明ならびにアピールしたいことを10分程度で述べて下さい。

( プレゼンテーション )

清水商事 平成17年10月より公平な利用、行き届いたサービスを心がけプールの事業に励んでいる。また、民間の施設運営の経験から、気持ちよく利用していただけることを基本に接客している。

今回、スポーツセンターの指定管理者に申請するにあたり30%・12,000人を越える当市の高齢者の健康管理のプログラムに対応できる人材を揃え、スポーツセンターを八幡浜市の健康づくりの中心施設になるよう、市民の健康を増進するという施設設置の目的を達成できる運営を目指します。高齢者の健康増進は、社会問題化している高齢者の医療費削減にも効果的と思われ、結果的に八幡浜市の歳出削減にもつながる効果があると確信しています。

経営的には、人口が減少し厳しい経営環境が予想される中、今運動していない市民に運動するきっかけを作り、幅広い市民がスポセンに足を運んでいただけるような取り組みで利用者を増やし、民間施設経営のノウハウを生かし光熱費等の経費削減を徹底して健全な経営を心掛けて行きたい。

清水商事株式会社 市民スポーツセンター指定管理者収支計画書 総括 (単位・千円)

支出の部	H21年度	H22年度	H23年度
1 人件費	44,032	44,372	44,712
2 需用費	31,150	30,370	29,620
3 役務費	3,491	3,551	3,612
4 委託料	6,684	6,684	6,684
5 使用料・賃借料	743	743	743
6 工事請負費	300	300	300
7 備品購入費	330	330	330
8 負担金・補助金	141	141	141
9 公課費	2,134	2,236	2,338
7 その他	180	250	300
合計＝(応募価格)	89,185	88,977	88,780

収入の部	H21年度	H22年度	H23年度
1 使用料	50,500	51,500	52,700
2 その他	1,500	2,000	2,300
合計＝(応募価格)	52,000	53,500	55,000

指定管理費	37,185	35,477	33,780
-------	--------	--------	--------

- 委員長 清水商事株式会社の説明が終わりました。  
これより質疑に入ります。質問はありませんか
- ( 質疑応答 )
- 委員 清水商事 ネーミングクワイツも構想にあるが、行政とは協議しているのか。  
色々な取り組みの中で市の財政面で効果があると思い提案している。可能であれば実現したい。
- 委員 清水商事 やるとすれば、どのくらいの額を想定していますか。  
はっきりした額は決めていないが、県や他の事例を参考に検討したい。
- 委員 清水商事 保内の自社施設との運営上の問題は生じていないか。  
水泳を盛んにし、地域の水泳人口を拡大していく目標で取り組んでおり、お互いの足を引っ張る悪影響はない。
- 委員 清水商事 高齢者のメニューはどのようなものを予定しているか。  
現在、市の転倒予防教室などに講師派遣による協力をさせていただいている。  
高齢者の運動習慣をつけていく教室などにより、八幡浜市がスポーツが盛んで、健康的な町にしたい。
- 委員 清水商事 メインアリーナの利用促進についてどのような考えがあるか。  
現在人口が減少していく中で、スポーツだけではなく映画・物産展の利用も考えている。SA級インストラクターによる就学前の児童を対象とした運動能力開発教室でスポーツ人口の拡大で利用率を上げていきたい。
- 委員 清水商事 経費削減策として職員数を3名程度削減することを計画としてあるが、プールの人員を削減すると危険性が心配されるが、この人員で。  
プールの人員は増やし、現在委託している清掃・施設管理など別々の契約で行っている業務を集約し、現状より安全性を保ち運営できる。
- 委員 清水商事 施設管理の合理化とは。  
当社の管理部門を活用したい。
- 委員 清水商事 水泳教室の使用料が多くを占めているが、どのように伸ばしていくのか、子供を中心に考えているのか。
- 委員長 子供の利用も増やしていきたいが、大幅な増は難しいので高齢者の利用を延ばしていきたい。
- 委員 清水商事 功績のあった選手の支援体制は。  
日本選手権に出場できる選手もいて、大学進学フォローもしていきたい。  
当教室は強化選手を特別に育成している教室ではなく、水泳に親しんできた能力ある者が良い成績を残しているという観点から、水泳を通しての人間教育を続けていきたい。
- 委員 清水商事 宇和島市がメジャーの岩村選手を支援する体制を整えている。世界を目指すレベルの事業展開も視野に入れていくべきでは。  
指導する人材はいるので、積極的に取組みたい。
- 委員 清水商事 保内はバスがあるが八幡浜に利用できないか。高齢者には必要と思うが。  
教室料金の違い、交通法の規制もあるので難しいと思うが、教育委員会と協議しながら考えていきたい。

委員 長 他に質問はありませんか。  
ないようですので、清水商事株式会社の面接審査を終えます。

委員 長 2番 有限会社スポーツコミュニティ（S・C）の面接審査を行います。  
事業計画の説明ならびにアピールしたいことを10分程度で述べて下さい

（プレゼンテーション）

S・C 今回の申請にあたり、現状の市民の利用状況・サービス・収支を確保する計画を策定したが、困難な点が多い。不安な面もあるが、事業計画書・収支計画書を提出させていただいた。

有限会社スポーツコミュニティ  
市民スポーツセンター指定管理者収支計画書 総括 （単位・千円）

支出の部	H21 年度	H22 年度	H23 年度
1 人件費	33,776	33,776	33,776
2 需用費	27,651	27,651	27,651
3 役務費	3,354	3,367	3,379
4 委託料	14,015	14,015	14,015
5 使用料・賃借料	748	748	748
6 工事請負費	0	0	0
7 備品購入費	100	100	100
8 負担金・補助金	6	6	6
9 公果費	4,060	4,060	4,060
7 その他	100	200	300
合計＝（応募価格）	83,810	83,923	84,035

収入の部	H21 年度	H22 年度	H23 年度
1 使用料	46,140	46,644	47,148
2 その他	500	500	500
合計＝（応募価格）	46,640	47,144	47,648

指定管理費	37,170	36,779	36,387
-------	--------	--------	--------

委員 長 S・Cの説明が終わりました。  
これより質疑に入ります。質問はありませんか。

- 委員 S・C 愛南町や吉田など各所で事業を展開しているが、八幡浜で事業を行うことは可能か。3年前までやっていた実績があるので可能である。
- 委員 S・C 3年前までやっていたとの事だが、今回八幡浜で何かやりたい事は。特別変わったことをやろうとは考えていない。  
2,000万円以上の経費削減を考えざるを得ないので攻めの計画は立てられない。近年の収益が下がってきているので、収益の確保できる状況を作ること考えなければならない。  
水泳教室・プール管理委託の業務は自前でできるので人件費に計上したが19年度に3,950万円であったプール運営委託料を2000万円でやらねばならないため難しいと感じている。また、その他の施設管理委託料も関係者との折衝が必要だが、削減可能な額が1割か2割程度と思われるので報告は19年度の数字で計上しており、その分人件費を圧迫した経費の内容となっている。
- 委員 S・C 会社の所在地が八幡浜市で納税証明書や登記簿が愛南町になっており、定款で本店を八幡浜市に置くとなっている。本店は何処と理解すればいいのか。  
3年前までは八幡浜市から愛南町に移した。事務所を八幡浜において市民税を払っている。
- S・C 3000万円近い経費削減で指定管理料が設定されているが、経費の積算根拠をお尋ねしたい。また、19年度の決算に基づき20年度も19年度と同じ程度の収入を確保できると判断して積算したのか。
- 生涯学習課 19年度決算から工事請負費や事業に直接関係ない経費を除いたものを基本に当方で試算した額を提示している。
- S・C 委託料や人員配置の見直しで経費削減を図ったが、現状のサービスを提供するためには人件費を削る手法しかなく、労働時間が長くなる、やる気をなくすなど悪影響が予想される。現在の額に追加して経費を出す考えはないか。
- 委員長 内部の幹事会で検討し、受託していただけると思われる額で募集させていただいた。指定管理者制度の主な目的には、サービスの向上と経費の削減があり、この金額を提示している。今後の指定管理料の追加協議は考えていない。
- S・C 今回の回答は支出面の説明だが、少子化による人口減少の中で収入を増やすことが可能と考えるか。
- 委員長 当施設は子供だけを対象としているわけではない。幅広く高齢者までの利用を期待している。
- 生涯学習課 利用率の向上や各種事業の展開を民間の方にお願ひし、収益を増加させていただきたいと考えています。
- 委員 S・C メインアリーナの利用率の向上策はどのような案がありますか。  
収入の半分以上を占める水泳教室の建て直しを第一に考えている。また、サークル活動の幅を広げたい。  
しかし、人件費の削減が必要な収支計画では市民の期待にはこたえることは難しく、現在の経済情勢では劇的に収支を改善することは不可能と判断し今回は辞退します。
- 委員長 辞退届けが提出されました。これで有限会社スポーツコミュニティの面接審査を終わります。

**委員長**

以上で市民スポーツセンターにかかる申請者すべての審査が終了しました。  
辞退届けが提出されましたので、有限会社スポーツコミュニティは採点の対象外と  
します。

結果的に1社の申請となりましたが、選定基準を満たしているかの確認が必要で  
すので予定通り採点を行います。

これより、採点・集計を行います。

委員におかれましては、提出されている事業計画書ならびに本日の面接により評価  
シート各項目の採点を行ってください。

( 採 点 )

**委員長**

提出用と控えの点数が同じであることを確認してください。  
それでは、採点結果の回収を所管課にさせます。

( 回 収 ・ 集 計 )

**委員長**

集計が終わりました。控えの評価シートの準備をお願いします。  
採点結果を集計したものを回覧しますので控えと照合し確認願います。

( 結果確認 )

株式会社清水商事 八幡浜市民スポーツセンター 指定管理者候補者 選定評価集計表			
選定基準 (条例第4条規定事項)	審査(評価)基準	清水商事株	(有)スポーツ コミュニティ
(第1号) 事業計画書の内容が市民の平等な利用を 確保し、及びサービスの向上が図られるも のであること	① 平等な利用の確保について	101点 / 120満点	/
	② サービスの維持・向上に対する考え方について		
	③ クレーム対応の考え方について		
(第2号) 事業計画書の内容が、当該公の施設の効 用を最大限に発揮させるとともにその管理 にかかる経費の縮減が図られるものであ ること	① 事業計画の実現可能性について	147点 / 180満点	
	② 管理経費の縮減効果について		
	③ 収益性の向上に対する考え方について		
	④ その他新規、魅力的な提案の有無について		
(第3号) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物 的能力及び人的能力を有し、又は有するこ とが確実であること	① 施設現状の認識、今後の管理運営の考え方について	114点 / 150満点	
	② 団体の安定性、継続性について		
	③ 配置職員の給与、その他勤務条件について		
	④ 職員体制、採用方針、指導育成に対する考え方について		
(第4号) その他、当該公の施設の設置目的を達成 するために必要であるとして市長等が別に 定める基準	① 緊急事態への対策について	114点 / 150満点	
	② 防犯対策、衛生管理、安全管理について		
	③ 情報、現金等管理に係るセキュリティについて		
	④ 管理運営への意欲、熱意について		
<b>合 計</b>	<b>点 数</b>	476点 / 600満点	辞退

**委員長**

確認が終わったようなので、結果を申し上げます。

清水商事株式会社の総得点は476点で平均は79.3点であります。

選定の基準60点を満たしておりますので清水商事株式会社を八幡浜市民スポーツ

センターの指定管理者制度候補者として決定し、市長に報告してよろしいか。

( 異議なし )

**委員長** 異議がないようですので清水商事株式会社を市民スポーツセンターの指定管理者制度候補者に決定し市長に報告します。